

平成24年度  
実施事業

事務事業名 リサイクルまつり

| 区分     | No  | 名称                                       |
|--------|-----|--|
| 章      | 2   | 自然とともに暮らすまち                              |
| 節      | 1   | 環境への負荷の少ないまちをつくる                         |
| 施策     | 2   | 循環型社会の構築                                 |
| 小分類    | 2   | 廃棄物の有効利用                                 |
| 主要な施策  | 1   | ①リサイクルの普及啓発とその実践強化                       |
| 事務事業番号 | 002 | 事業開始年度 平成 13 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計 |

|     |       |       |               |
|-----|-------|-------|---------------|
| 部 名 | 市民生活部 | グループ名 | 環境対策室環境対策グループ |
|-----|-------|-------|---------------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

|          |   |
|----------|---|
| 目的       | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください)  |
|          | ごみの減量化やリサイクルに関する普及啓発を行うことにより、資源循環型社会の構築を図ることを目的とする。   |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)  |
|          | 市民がごみの減量やリサイクルを意識するきっかけになることを目的とし、リサイクルまつりを開催した。<br>【事業内容】<br>・開催日 平成24年7月8日(日)<br>・会場 クリックルセンター<br>・来場者数 2,000人<br>・イベント内容<br>フリーマーケット、昔の遊び体験、堆肥化製品の無料配布、環境パネル展、ペットボトル釣り・ペットボトル工作教室、繊維リサイクル、紙すき・絵手紙づくり体験、環境クイズ、太陽光発電・風力発電展示、環境家計簿体験、古布作品展、登別・白老物産展 |
| 今後の方向性   | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)   |
|          | ごみ減量化やリサイクル意識の啓発に効果を挙げており、市民にも好評を得ていることから、今後も、現在のイベント内容を踏襲しつつ、更に魅力ある内容となるよう拡充を図る。   |
| 根拠法令等    | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)  |
|          |   |

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

| 区分     |    | 単位 | H23年度<br>決算 | H24年度<br>決算 | H25年度<br>当初予算 | H26年度<br>見込 | H27年度<br>見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金  | 名称 | 千円 |             |             |               |             |             |
| 道支出金   | 名称 | 千円 |             |             |               |             |             |
| 地方債    | 名称 | 千円 |             |             |               |             |             |
| その他    | 名称 | 千円 |             |             |               |             |             |
| 一般財源   | 名称 | 千円 | 58          | 60          | 61            | 61          | 61          |
| 事業費 合計 |    |    | 58          | 60          | 61            | 61          | 61          |

指標の推移

《Check》

| 区分   |               | 単位 | 区分  | 23年度<br>実績 | 24年度<br>実績 | 25年度<br>目標 | 26年度<br>目標 | 27年度<br>目標 |
|------|---------------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果指標 | ① 来場者数        | 人  | 目標値 | 2,000      | 2,000      | 2,000      | 2,000      | 2,000      |
|      |               |    | 実績値 | 1,000      | 2,000      |            |            |            |
|      | ② フリーマーケット出店数 | 店  | 目標値 | 30         | 30         | 30         | 30         | 30         |
|      |               |    | 実績値 | 30         | 30         |            |            |            |

| 比較  |   | 《 Check 》 |
|---|---|-----------|
| 平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等   | 左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等  |           |
| <p>白老町、消費者協会及び各種団体と連携し、ごみの減量化、リサイクル意識の向上や環境に関する意識啓発を目的としたイベントとして市民に定着している。</p> <p>また、フリーマーケットや物販コーナーなど屋外でのイベントが多いため、天候の影響により来場者数が変動されやすいことも懸念される。</p> | <p>毎年約2,000人を集客するイベントとして市民に根付いていることから、今後は、より充実したイベントの企画及び、悪天候時の屋外イベントの対応策（屋内でのスペース設置等）を講じていくことにより、天候に影響されない人気イベントとして更に集客を見込むことができる。</p> |           |

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

| 1. 事務事業の妥当性について                   |                       |                          |  |
|-----------------------------------|-----------------------|--------------------------|--|
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？     | <input type="radio"/> | ① 市が主体に行うべき事業である         | 判断理由及びその他所見<br>白老町や消費者協会、環境関係団体と連携し、市民や町民を対象に実施しており、市が実施することが妥当である。    |
|                                   | <input type="radio"/> | ② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である |  |
|                                   | <input type="radio"/> | ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である |  |
|                                   | <input type="radio"/> | ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している   |  |
| 2. 事務事業の必要性について                   |                       |                          |  |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？      | <input type="radio"/> | ① 市民、団体等から具体的な要望がある      | 判断理由及びその他所見<br>ごみの減量やリサイクルへの意識向上等、環境に関する意識啓発に寄与していることから、必要性の高い事業である。   |
|                                   | <input type="radio"/> | ② 市民アンケートの結果から必要性が高い     |  |
|                                   | <input type="radio"/> | ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い     |  |
|                                   | <input type="radio"/> | ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い  |  |
| 3. 事務事業の効率性について                   |                       |                          |  |
| 事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> | ① 低予算、少労力で高い効果をあげている     | 判断理由及びその他所見<br>予算規模も既に縮小されているにも関わらず、多くの集客数を見込める事業となっている。               |
|                                   | <input type="radio"/> | ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い  |  |
|                                   | <input type="radio"/> | ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない    |  |
|                                   | <input type="radio"/> | ④ 将来的に効率性を向上できる          |  |
| 4. 事務事業の成果について                    |                       |                          |  |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？            | <input type="radio"/> | ① 成果指標の向上が見られる           | 判断理由及びその他所見<br>屋外でのイベントが多いことから、天候による影響が大きいですが、フリーマーケットの出店希望や当日の来場者が多い。 |
|                                   | <input type="radio"/> | ② 市民、団体等の声から成果を感じられる     |  |
|                                   | <input type="radio"/> | ③ 目に見える形で成果があがっている       |  |
|                                   | <input type="radio"/> | ④ 成果の把握は困難である            |  |

①担当グループによる評価 《 Check 》

|    |                      |  |
|----|----------------------|--|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | まつりを通じて、ごみの減量化やリサイクル意識の向上を促し、循環型社会のPRに努める必要性から、今後も行っていくことが妥当である。 |
|----|----------------------|--|

②行政評価会議による評価 《 Check 》

|    |    |  |
|----|----|--|
| 維持 | 備考 |  |
|----|----|--|